



# 臨嶺会会報

第31号

2010年春発行

## 目次

特集「臨床検査の新しい方向性」		中校舎にエレベータができたよ！……	11
臓器移植コーディネーター ……	2	カミングホームデー	
健康食品管理士 ……	3	卒後40周年衛検3回生 ……	12
科学捜査研究所（科捜研） ……	4	最近の検査	
治験コーディネーター ……	5	リアルタイムRT-PCR法 ……	13
病理検査に従事している同窓生		松本便り ……	14
の皆さんへ ……	5	こじ記 ……	14
臨嶺会員の近況報告 <b>再開</b> ……	6～8	卒業生の進路 ……	15
素敵な「新外来棟」がオープン ……	9	事務局からのおしらせ ……	15
検査技術科学専攻の先生たち ……	10～11	2009年のできごと ……	16
新任・退任・現職の先生たち		編集後記 ……	16

# 特集「臨床検査の新しい方向性」

## 皆さんは、臓器提供意思表示カードを ご覧になったことがありますか

信州大学医学部附属病院  
移植医療センター  
長谷川 康久（短 1 回生）

今年、臓器移植法改正案が審議されましたので、関心を持たれた方も、いらっ  
しゃるかもしれませんが、一度も手にしたことの無い方が多いことでしょう。も  
しかすると、意思表示をして所持していらっしゃる方もいるかも知れません。

私は、現在、長野県臓器移植コーディネーターを兼務しています。3年前、当  
時の病院長から、




「コーディネーターを県から依頼されているが、誰も手を挙げてくれないし、返  
事をする期限も迫っているのだが・・・」

と依頼されて現在に至っています。臓器移植といえば、長野県内では信州大学医  
学部附属病院ということで、県から依頼があったようです。しかし誰も手を挙げ  
ない。私は、腎臓、肝臓、骨髄の各移植に輸血業務上関係していた為、お鉢がま  
わって来たと思っています。その様な訳で52歳の手習いが始まりました。初年  
度は、研修、病院訪問、臓器提供症例対応などで、80日余り出張しましたが、  
3年目の現在も似たような具合で、東京、隣県、県内と出歩いています。おかげ  
で、必要に迫られてスーツを5着新調し、カーナビをつけた車の走行距離は、  
10万キロを越えました。

さて、コーディネーター業務としては、実務として臓器提供にかかわること  
と、普段の普及啓発活動の大きく二つに分けられます。実際、死後に臓器  
を提供したいという患者、或いは患者家族が現れた時にその病院を訪問して、  
臓器提供のお話をし、同意が得られれば、当該病院、日本臓器移植ネット  
ワーク、臓器摘出チームなどと連絡調整しながらドナー、ドナー家族の意思  
が実現するように務めます。そのようにして県内で対応した症例は6例にな  
り、6名の患者に腎臓移植がされています。その他に、隣県の法的脳死によ  
る多臓器提供にもかかわらせていただきました。その為、52歳で生まれては  
じめて、人の臨終に立ち会うことになりました。もう一方の日常業務として  
は、県など関係機関との連絡調整、関係病院訪問、各病院で行われる病院祭、  
地方自治体の健康フェスティバルなどで、移植医療に関する展示ブースの設  
置、普及啓発グッズを配布、関係病院、教育施設などでの講演活動、シユミ  
レーションなど、移植医療に関することなら何でもすることになります。



日本臓器移植ネットワークに所属する20名余と、私のように各都道府県に1～2名配  
置されている50数名と合わせて70数名が活動しています。元の職種としては看護師が7  
割余りで、検査技師は5名ほどになります。実際、私の教育係をしながら、一緒に各症例  
に対応した日本臓器移植ネットワークのコーディネーターも32歳の看護師でした。

 Japan Organ Transplant Network Homepage  
(社)日本臓器移植ネットワーク

社団法人日本臓器移植ネットワーク  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-5-16 晩翠ビル3階  
Tel: 03-3502-2071

<http://www.jotnw.or.jp/index.html>

この業務を引き受けた時の上司には、「3年は  
頼む」と言われましたが、今年が3年目になり  
ます。私も55歳で、定年をカウントダウンで  
いる状況にあり、スムーズに引き継ぐためにも  
後継者を探しながら、役割を務めているところ  
です。症例に対応する為に、病院に幾晩も泊り  
込むことがあります。やはり若さには勝てませ  
ん。そして30歳代くらいのピチピチした、疲れ  
を知らない誰かを捕まえたいと日々考えてい  
ます。

症例は毎回ぶっつけ本番で、ドナーの生と死に直面しますが、この業務にやりがいを感じる人は感じているよう  
です（私は・・・）。今の生活、検査、病院に、行き詰まりを感じている人は、信州大学医学部附属病院移植医療セ  
ンター 長谷川まで、ご一報下さい。

～編集委員長よりひと言！～

この原稿をいただいた後の話題ですが、2010年1月に国内85例目にして、長野県内初の脳死移植が実施されました。

## 健康食品管理士としての取り組み

金沢大学附属病院検査部  
金沢大学大学院医学系研究科  
中出 祐介（短24回生）

皆さんは健康食品管理士という資格をご存知ですか？

健康食品管理士とは、

「食品（健康食品）の安全性、効果、医薬品との相互作用及びその取り扱いに関する知識を有し、食品（健康食品）を摂取する消費者の健康状態を判断する能力があり、消費者に対して食品（健康食品）を適正に利用することとその被害から守ることに指導的役割を担える人材である」

とされています。私はこの資格が出来るや否や（5年前）、受験し健康食品管理士を取得しました。当時から私は、糖尿病療養に携わっており、食事療法には大変興味がありました。そこで、この資格が糖尿病療養に役立つのではないかという気持ち（一方では、出来たばかりの資格ゆえに取得し易いのではという安易な気持ちも・・・）で受験しました。資格を取得してからは、この「病気になる前に治してしまおう」という考えと可能性にとっても共感し、今ではこの世界にどっぷり浸かっています。



一般社団法人  
**健康食品管理士認定協会**

The Functional Food Consultant Certification Institute

<http://www.ffcci.jp/index.html>

**現在**、5年前より続いている糖尿病療養指導のほか、鈴木信孝特任教授（当大学大学院医学系研究科臨床研究開発補完代替医療学講座）の指導の下、健康食品管理士業務ガイドライン（臨床検査技師編）を作成しています。その内容を簡単にまとめると、

1. 健康診断時に、異常ではないが注意が必要（未病）といった方を対象に、その検査結果に応じた健康食品のアドバイスを行うこと。
2. 患者または医療従事者に対して、健康食品の相談窓口を開設すること。
3. 健康食品摂取者に対し、検査値に与える影響を検査結果に付加すること。
4. 研究として、健康食品に潜む機能成分の作用機序や安全性、薬物相互作用、検査値に与える影響などの問題点を解明しなければいけないこと。

といったものになります。



**ちなみに**、糖尿病療養指導は医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士（糖尿病チーム）が協力して、入院患者を対象とした糖尿病教室、チームによるカンファレンスと病棟回診、刊行物「Team Diet」（<http://www.Teamdiet.jp/>）への糖尿病に関する投稿など、各職種の立場から患者さんへの療養ポイントを指導・提案しています。また、糖尿病治療への協力や検査結果の説明、もちろん、勉強会・抄読会で糖尿病に関する最新の情報を収集することも欠かしません。

**現時点**での糖尿病療養指導における健康食品管理士の役割は、十分なものではありませんが、糖質コントロールを示す食品等の適正利用といった観点で、将来的に活かせればと思っています。

少しでも興味を持たれた方は、HP（<http://web.kanazawa-u.ac.jp/~med67/>）をご覧ください。また、2010年4月よりドイツの州立大学（European University Viadrina）補完代替医療学講座の非常勤講師になる予定です。アメリカに次いで日本は補完代替医療先進国なので、僕のような若輩者にも声がかかりました。金沢大学での仕事と兼任なので、ハードになりますが機能性食品という日本発の素晴らしい健康食品の仕組みを世界に広めていけたらと思っています。

## 「犯罪捜査に携わって・・・」



神奈川県横浜市みなとみらい地区にある  
神奈川県警察本部です。

神奈川県警察科学捜査研究所  
坂上 静香（短21回生）  
田中 佐知（保1回生）

私たち、「神奈川県警察科学捜査研究所（科捜研）」に勤務しています。

神奈川県の科捜研には、法医科、薬物科、有害物質科、工業製品科、物理科、交通工学科、銃器科、文書鑑定科、心理科の9つの専門分野があり、職員数は約60人程です。私たちは主にDNA型と血液型の検査業務（私たちは「鑑定」と言います。）を行っている法医科に所属しています。テレビドラマなどで取り上げられることが多いため、仕事のイメージは持ちやすいかと思いますが、あくまでもテレビですので、実際はルーチンワークに追われているのが現状です。

「鑑定」は事件に関連していると思われるあらゆるものを扱います。たとえば、煙草の吸殻やペットボトル、ナイフ等などの物体が依頼されます。最初は、それらのものから「ヒトに由来するもの」（この場合、唾液であったり血液であったりしますが・・・）が付着しているかについて検査し、その血液型あるいはDNA型検査を行います。数年前までは、血液型検査が多かったのですが、ここ2、3年でDNA型検査が激増しています。「鑑定」で行うDNA型検査は病院や研究室で行う方法とほとんど変わりませんが、最終的に電気泳動により個人が特異的にもつDNAの型「DNA多型」を判定します。この判定結果より、事件の概要が明らかになったり、身元不明の人物が判明したりというかたちで犯罪捜査を支援しています。

これらの「鑑定」に必要な技術は、就職してから警察庁科学警察研究所（こちら最近テレビに登場していますが・・・。）にて、全国の科捜研職員と一緒に、長期にわたる研修で一から習得していくのですが、信州大学時代に学んだ知識や大変だった実習が、新しい技術を身につける上での土台となり、大いに役立っています。

大学時代と大きく違う点は、取り扱う試料が臨床検査等で扱うものとは異なり、非常に状態の悪いものばかりです。血液にしても採取直後の新鮮さを保っているものはほぼありません。癍痕になっているものや、何が混ざっているか分からないものもあります。先程「ヒトに由来するもの」とお話ししましたが、ヒトではなく動物由来のものが付着している事すらあります。試料1つ1つを状態から見極め、判断し、その試料にあった方法で結果まで導いていく作業が要求されます。まさに「正解なき謎解き」のような作業ともいえ、困難なものである一方、探求する面白さがあるとも言えるでしょう。

この仕事に就いて感じたことは、「今まで無事に生活してこられたことはすごいことなのかもしれない」という事です。日々、想像以上に様々な事件が発生していて、報道されているのはほんの一握りではないかと実感しています。被害に遭われた方やそのまわりの人々、または、逆に疑わしいと容疑をかけられた人々を冤罪から守るためにも、常に正確に、そして中立公平な立場で鑑定を行うことの責任の重さを日々感じずにはられません。

「人の命」を守る「臨床検査技師」の皆さんと同じように、私たちも「人の人生」を守る「鑑定人」として、これからも頑張っていきたいと思えます。



全国の県警察にはそれぞれのマスコットがいます。  
神奈川県警は「ピーガルくん」です。長野県警は・・・？

## 治験コーディネーターに転職して思うこと

株式会社エシック  
高橋 英理子（短29回生）

私は、医療短大卒業後、東京のクリニックで臨床検査技師として三年半勤務し、その後、治験業務の支援を行う会社『株式会社エシック』に転職しました。現在は松本に戻り、市内の病院で治験コーディネーターとして新薬の開発に携わっています。

エシックでは、薬剤師、看護師、臨床検査技師の医療系の国家資格を有する者、その他医療系の大学の出身者が治験コーディネーターとして従事し、医療機関で実施する治験をサポートしています。



私（前列左）と同僚たち

治験コーディネーターは治験に参加される患者さん、治験を実施する医師、その治験を依頼する製薬会社の方、様々な場面で多くの人と接します。したがって、社会人としての基本的なビジネスマナーや、医学の知識が必要となります。患者さんとの会話では疾患に関する知識がないと患者さんの気持ちには添えませんし、また、医師やスタッフとの打ち合わせでは医学用語、薬、看護の知識がないと内容をつめることが出来ません。私は治験コーディネーターとして働いてちょうど一年になりますが、日々の業務は多岐にわたるため、この一年間で臨床検査技師としての知識のみではなく、今まで足りなかった医学的知識、コミュニケーション能力が少しずつ身についてきていると感じています。

自分が言った一言で患者さんの表情が明るくなり「ありがとう」と感謝の言葉をいただいた時、治験コーディネーターの仕事にとってもやりがいを感じます。治験コーディネーターとして患者さんと関わることで、臨床検査技師とはまた違った充実感を日々感じています。

治験コーディネーターは、新薬開発の中ではとても重要な役割を担っていると 생각합니다。また、自分が携わった治験薬が承認され、治療薬として世に出ることは本当に誇りに思えることだと思います。私は日本で質の良い治験を行えるように、さらに、安全で効果の高い新薬が早く開発されるように、医療の現場で自分が出来ることを考え、実行していきたいと思っています。



## 病理検査に従事している同窓生の皆さんへ

本学で病理組織細胞検査学を担当している羽山です。  
開校以来40年を過ぎた現在、同窓生で病理検査に就いている方も少なくはないのではないのでしょうか。とかく病理検査の職場というのは他の検査部門に比べると狭い人間関係の中で日々仕事をしているように思います。同窓生であることを縁にお互いの存在を知り、互いに交流を広げる“場”を考えています。つきましては病理検査に従事されている方、この意に賛同して参加していただける方、また、一緒に企画実行に協力していただける方、ご連絡いただければ幸いです。今後の予定については参加者の把握ができたところで決めたいと思います。4月末を目処に下記 e-mail にご連絡ください。

連絡先 e-mail : qhayama@shinshu-u.ac.jp Tel : 0263-37-3503 発起人 : 羽山正義

# 近況報告の掲載を再開！

以前に掲載しておりました近況報告。今回号より復活します。

全会員が参加できるよう、卒業生の近況をお伝えして参ります。

今回、掲載された会員の皆さんには、すでに次号の会員を推薦して頂いておりますので、次号もお楽しみに…。(次号の推薦がない学年は、編集委員会で推薦しました。)

衛 1回生	飯島(荒田)みち子(信州大学病院)
<p>定年退職して早1年8ヶ月も経ってしまいました。現役の頃、いろいろな人に出会い、いろいろなことを経験してきたと思っておりましたが甘かった。シニア雇用になって、今までと全く違う仕事をしてみたら、またいろいろな人との関わりがあり、様々な予想外の事が起こり、なんていろいろな人があろうだろうと思知らされました。同じ大学内でこの有様だから、外の世界は況やをやである。人間死ぬまで勉強ということを言われた憶えがあるが、今まさに実感しています。生きていくということは、そういうことなのですね。時には落ち込むこともあります。そこは団塊の世代、また雑草のように起き上がるんだと自分に言い聞かせ、今の仕事に精一杯の努力をしています。でも短い人生、楽しむことも忘れず。やがてやって来る完全退職という、世の中から取り残されたような気になるであろう日を、平気で迎えられる下準備も怠らないように、毎日を送ろうと思っています。</p> <p>(編集委員会推薦、次号：熊谷順子さん)</p>	

衛 2回生	福嶋(武重)幸代
<p>退職後に山岳センターで技術を学び、登山を生き甲斐としています。近隣の山は踏破し、今年は北海道8山登って来ました。陶芸と太極拳も趣味に加わりました。そんな私は、3人の孫の前ではお祖母ちゃんに大変身です。</p> <p>(次号：小嶋紀子さん)</p>	

衛 4回生	高村(古川)純子 (厚生連北信総合病院)
<p>お元気ですか？病院の検査に関わり数十年。検査の拡充や自動化、患者様と直に接する緊張感、様変わりした状況やいろいろな思いが今脳裏をよぎります。これからは周囲の人に感謝し、老老介護も覚悟で再スタートです。</p> <p>(次号：玉城百合子さん)</p>	

衛 3回生	小林(赤羽)幸子
<p>2009年3月末で一応【定年退職】しました。のんびりと山登りや花造り、趣味のゴルフ三昧を夢見ていましたが、悪魔の甘い囁きに誘われるままに感染症対策の世界に留まることになりました。現在は横浜市衛生研究所で遺伝子検査に携わっています。セカンドステージに立つと同時に湧き上がった新型インフルエンザ騒動！感染研からの指示が間に合わない状況の中で、独自に開発したプロトコルに基づき昼夜たがわず、日曜、祭日も返上の臨戦体制の渦中に巻き込まれることになりました。「これも運命のいたすら？」と思っています。ワクチンの接種が初冬から始まりましたが、死者、重症者の数がこれ以上増えず収束に向かうことを願っています。会報が発行される頃には予定通り悠々自適？な生活を満喫し(願望です)、ゴルフも一層の輝きを取り戻していることでしょう。</p> <p>(次号：伊藤美幸さん)</p>	

衛 5回生	藤岡(飯島)美江
<p>スーパーで週30.5時間のパート勤務をしています。年寄いた猫との気ままな暮らしで、10aの畑で野菜や豆、苺、ブルーベリーなどを無農薬で作っています。漬物、味噌、ジャム等に加工して自己満足しています。</p> <p>(次号：名簿の逆から)</p>	

衛 6回生	細萱茂実 (香川県立保健医療大学)
<p>皆様にはご無沙汰しております。この四月に27年間お世話になった山梨を離れ、香川県にある保健医療大学に着任しました。長野から少しずつ離れる寂しさの中で、何とか新天地に慣れ、四国探索、医療人育成、精度保証、一つ一つを真摯に、夢をもって追究できればと思っています。</p> <p>(次号：池田昌伸さん)</p>	

臨 1回生	亀山(岩波)文子
<p>御無沙汰しています。数年前に仕事を辞めた私は、実家の両親と姑のお相手をして過ごしていますが、最近娘が出産し、初孫が誕生しました。忙しくも楽しい一半年を過ごしました。これからは娘が仕事復帰した際、孫の面倒を見られる様に、自分の健康と体力維持を心掛けていこうと思っています。皆様も御自愛下さい。</p> <p>(次号：野沢もりえさん)</p>	

臨 2回生	渡邊達男 (長野県健康づくり事業団)
<p>御無沙汰です。長野に居ながら鳴かず飛ばすの日々ですが、現在も細胞診にかかっています。子宮がんがウイルス感染に起因することが最近証明され、子宮がんも感染症に注意すれば手遅れにならず、また、ウイルス排除に効果期待できるワクチンも開発されてきています。遥か昔、丸山雄造先生が黒板一杯に書きなぐった細胞の様々を思い出しながら、医学の進歩に驚く今日この頃です。</p> <p>(次号：千原恵子さん)</p>	

短 1回生	山田恭子(新潟県立中央病院)
<p>卒業して早33年が経ちました。細胞検査士の資格を取り、病理で顕微鏡とマイクローム相手に仕事をしてきましたが、2年前に臨床検査に移り一般検査・生化学検査・染色体検査をしています。初めは浦島太郎状態で分析機と格闘していましたが、なんとか頑張っています。</p> <p>(次号：早出令子さん)</p>	

短 2回生	餌取文昌(岐阜市民病院)
<p>医療短大を卒業してから、あっという間に30年以上の年月が過ぎてしまいましたが、短2のみなさんお元気ですか、私は26年間病理検査に携わっています。2年前には、当検査部へ美しく優秀な後輩が2人入ってくれました。双子の娘もまだ中学3年生です。加齢と付き合いながら、もうひと踏ん張り、また、お会いできる日を楽しみにしています。</p> <p>(次号：村上恵子さん)</p>	

短 3回生	町田(神津)ゆかり
<p>卒業後、埼玉県の春日部市立病院に12年間勤務しました。34歳で佐久に戻り結婚、そして40歳までに4人の男の子の母となり、今は、毎日主人の法律事務所まで経理をしています。医療で言う症例、法の世界における判例は、それぞれ解決の手がかりを探るという点で似ていると思います。</p> <p>(次号：轟 智子さん)</p>	

# 「臨嶺会員の近況報告」

**短 4回生** 玉井清子（ミロクメディカルラボラトリー）

私達のクラスは4年に1回定期的に同級会を開いています。H21年は15名が出席し、担任だった上村英夫先生を囲んで楽しいひとときを過ごしました。30年経っても皆気持ちは学生の頃のまま、いい関係です。

（次号：園原美恵子さん）

**短 5回生** 亀谷清和（信大ヒト環境科学研究支援センター機器分析部門）

卒業からもうすぐ28年、もうすぐ給与昇級停止と定年退職。「あつという間の人生か！」なんて言ってもらえない。似てほしくない若き頃の自分と同じ道を進む息子たちと格闘しつつ、目の前の業務をこなす日々です。

（次号：春日直美さん）

**短 6回生** 永田 誠（諏訪マタニティークリニック）

産婦人科のクリニックに勤めるようになって3年近くになります。仕事は大変なこともあります。新生児室にならんだベビーの寝顔を見ていると、とても癒されます。世間では暗いニュースが多いですが、この子供たちの未来が幸せなものである事を願わずにはいられません。

（編集委員会推薦、次号：山脇江実子さん）

**短 10回生** 小松（堀川）智子（信州大学病院）

信州大学の検査部にパートとして働き始めて6年が経ちます。日々進歩する医療現場で自分の勉強不足を痛感する毎日ですが、子どものテスト勉強に付き合ううちに歴史や理科にはやたら詳しくなりました。今日この頃です。

（編集委員会推薦、次号：蓮池朱実さん）

**短 12回生** 奥原（内田）典枝（松本協立病院）

カミングホームデーを無事済ませ・・・そんなお年頃になり、日々体力の衰えを感じております。県の研究班長という、身の丈に合わない役目をいただいたこの2年間の私の生活は、班活動中心。たくさん勉強させていただきました。が、四季の移ろいを感じることもできず、報告できることと言えば、近くのコンビニが新築移転しました、ってことでしょうか・・・。

（次号：山内一由さん）

**短 14回生** 奈須喜美子（松本市医師会臨床検査センター）

松本市医師会医療センターに務めて今年で20年になります。最近になって“お蕎麦”に興味を持ち、松本城新蕎麦祭り、大野川、野麦峠...今年のお蕎麦も美味しかったです。これからも私の知らない“松本”を堪能したいと思っています！

（次号：中村悦子さん）

**短 16回生** 中村晴美（松本市医師会臨床検査センター）

臨床検査技師になって18年目です。ルーチンワークも自分の判断で進めることができるようになり余裕が出来たため、県の臨床検査技師会活動に参加しています。平成21年度の県学会の実行委員や中信支部幹事として、他施設の技師の方々とともに奮闘しています。

（次号：中山朋秋さん）

**短 17回生** 樋口（佐々木）由美子（信州大学病院）

平成21年4月より信州大学病院臨床検査部から、信州大学病院先端細胞治療センターへ異動しました。樹状細胞を用いたがん免疫療法に携わっています。未知の分野で、毎日が勉強です。家に帰れば小4・小2・年少に囲まれ、忙しく、騒がしく、でも楽しい毎日です。

（次号：赤羽由紀さん）

**短 7回生** 赤木 豊（松本協立病院）

入職して0年だったと数えるよりも、あと0年しか残りが無い、と思うようになった今日この頃です。近況ということですので仕事のことは、さて置いて（置いてかないか？笑）、娘が中学に入り、部活で軟式テニスを始めましたが、土日、長期休みも練習・練習で遊びに行けません（親が笑）。この3年間は、家族旅行はお預けになりそうです。

（編集委員会推薦、次号：馬場ひさみさん）

**短 8回生** 中越（小出）りつこ（信州大学病院）

我が家には真っ黒な犬と真っ白なウサギが居る。犬は食いしん坊かつ甘えん坊、1日1時間の散歩と2回の餌を楽しみとし、暇があれば愛想を振り撒いている。一方ウサギは食いしん坊であるが愛想は無く、食べる時以外は瞑想に耽っている。なぜか人間の目から見ると双方とも可愛い。また双方とも幸せそうに見える。この2匹を見ていると個々の人間の“存在価値”や“幸せ”なども案外単純なのではないかと思ってしまう。

（編集委員会推薦、次号：海野正子さん）

**短 9回生** 本田（丸山）紀子

子供達が進路を決める年頃になり、自分が医短を受験した時の事を思い出しています。仕事をやめて22年、未だに子供達に振り回される毎日です。

（次号：平田幸子さん）

**短 11回生** 伊丹川裕子（相澤病院）

卒業して20数年経過しましたが「臨床」という言葉の重みをしみじみ感じる今日この頃です。単なる検査技師にならないように、臨床検査技師の役割は何か？どうすればよいか悩める日々を過ごしています。とりあえずもう少し頑張るしかないか・・・。

（次号：佐藤金夫さん）

**短 13回生** 羽田和男（松本市医師会臨床検査センター）

時間の過ぎるのが早くて困っています。一日があつという間に終わり、一ヶ月、一年の感覚がありません。歳のせいでしょうか？ 光陰矢の如しを実感しています。

（次号：河合正行さん）

**短 15回生** 石川伸介（信州大学病院）

2年前より輸血部に向向しています。昨年は新型インフルエンザによる血液製剤供給への影響に関して全国版ニュース（News JAPAN）に出演しました。現在、輸血業務のほか、がん免疫療法（樹状細胞療法）に関する検査にも携わっております。一方趣味の合唱・オペラも、第2回まつもと市民オペラ「椿姫」全幕公演が昨年末に開催され大成功を収めました。ご鑑賞頂いた皆さんに厚く御礼申し上げます。

（編集委員会推薦、次号：葛城裕子さん）

**短 18回生** 原口（玉熊）育美（波田総合病院）

勤めてはや16年。相変わらず検査技師しています。8年前に第1子を出産し、ただ今第2子妊娠のため、産休中です。年齢もかなりのため、切迫早産で入院を繰り返して、やっと臨月に入りました。育休後は、また復帰してバリバリ働く予定です。

（次号：青木義政さん）

# 「臨嶺会員の近況報告」

**短 19回生** 塩原（阿藤） 泉  
（長野市民病院）

卒業してから、現在まで長野市民病院に勤務しています。開院当初から勤めさせていただき、貴重な経験をさせてもらいました。今は主に生化学、免疫、一般、外来採血をローテーションで受けもっています。子供も2人授かり、ママさん検査技師として、育児と仕事で悪戦苦闘しながら働いています。  
（次号：中島英恵さん）

**短 20回生** 百瀬正信（信州大学病院）

仕事中心の生活の中で、私にとって音楽に接することは心に潤いを与えてくれる大切なものです。昨年はカノラホール（岡谷市）主催、アマチュア15人のピアノコンサートに出演し演奏したこと（ブームスのピアノ小品集）が励みとなり、より完成度の高い演奏をしたいと思い取り組んでいます。また、1枚のCDがきっかけとなり、古楽としてのリコーダーの演奏も楽しんでいます。  
（編集委員会推薦、次号：藤井麻衣さん）

**短 21回生** 高橋夕子（木曽病院）

私は今、木曽病院に勤務しています。こちらでは主に細菌検査、感染対策、内視鏡業務等を担当しています。臨床検査技師となって12年。世間では「中堅」と言われる年代になりましたが、まだまだ覚えることの方がはるかに多い事に気づかされる毎日です。  
（次号：森本友美さん）

**短 22回生** 武井（中島）友美

退職してから2年が経ち、今は1才7ヶ月の息子の育児に追われています。子育てがこんなに大変なものとは、と感じ、自分もこうして大きくなってきたのかと思うと、両親に感謝の毎日です。離乳食が完了し、少し楽になりましたが、子育てはこれからです。しばらくの間、ゆっくり家事、育児をさせてもらいたいと思っています。  
（次号：小林真紀さん）

**短 24回生** 菅野（笹野）桂子

臨嶺会の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか？さて、近況報告とのことですが、私、第3子を妊娠中でございます。どうやら男の子の様です。初めての男の子という事でとても楽しみです。出産はもう少し先ですので、我が子にあえるその日を心まことにして過ごしていきたいと思っております。  
（次号：池田有利さん）

**短 23回生** 増田真一（松本協立病院）

同級生の皆さんは元気になってるでしょうか？お久しぶりです。学校を卒業して早いもので11年が経ったのですが、毎朝通勤で大学の横を通る割には、一度も寄ったことがありません（笑）。当時は、はっきり言って勉強すること自体が嫌だった僕ですが就職してから勉強の楽しさを知ってしまいました。当時この情熱があれば国試前は苦労しなかったのに・・・。平凡な社会人を送るだろう・・・と思っていたのですが、最近では睡眠医療の分野で全国の著名な技師さんと肩を並べて仕事をされる機会もあり、県内で技師向けの睡眠医療セミナーの企画など慌しくも充実した毎日を送っております。人生よく分かりません（笑）  
（編集委員会推薦、次号：佐藤直仁さん）

**短 25回生** 大橋舞子（諏訪赤十字病院）

社会人になり、早いもので8年と数ヶ月が経ちました。今までの生理機能検査から最近移動し、糖尿病関連の仕事をするようになりました。まだ分からないことが多くあり、新人の頃を思い出します。気持ち新たに、日々の仕事に励もうと思っています。  
（次号：松林香織さん）

**短 27回生** 伴 あずさ  
（藤森病院）

「富士山に登ろう！！」  
誰かの何気ない一言から始まり日本一の山へ…。遊園地のような人の渋滞は目にしたものの御来光は拝めず。やはり強運の持ち主ではなかったようです。一生に一度は登りたいが年に一回は登りたいになりそうですが…？  
（次号：清水千恵さん）

**短 26回生** 小林美和（諏訪マタニティークリニック）

諏訪マタニティークリニックに勤務8年目、染色体検査部門と体外受精部門に携わっています。一昨年、何かに挑戦したいと思った時に、この会報で信大の大学院のことを知り受験。晴れて合格しました。社会人大学生として研究に励んでいます。仕事と研究の両立は大変ですが、研究は楽しく、新たな人との出会いにも刺激を受ける毎日です。  
（次号：上原弥生さんor中嶋郁美さん）

**短 28回生** 二木敬子  
（松本協立病院）

今も変わらず、松本協立病院で働いています。中堅という立場になり、大変な事もあるけど、美代ちゃんと共に仲良く楽しく仕事しています。仕事後はジムやパン教室に通ったりと充実した毎日を送っています。  
（次号：大坪 絢さん）

**短 30回生** 住友憲深  
（信州大学医学部人体構造学講座）

現在、信州大学医学部人体構造学講座で技術職員として働いています。近くにはいますが、他の技師の方とお会いする機会はそれほどなく寂しいです。また、知ってる方で私を見かけたときには声をかけて下さい。  
（編集委員会推薦、次号：足立香織さん）

**保 1回生** 葛本佳以  
（長野県立こども病院）

社会人になり早3年目。最近仕事ばかりです。少しは成長していると信じたいですが、まだまだわからないことばかりで、悪戦苦闘の日々です。つらい事もありますが、周りの皆さんに支えられ、頑張っています。  
（編集委員会推薦、次号：工藤裕美さん）

**保 2回生** 稲葉はつみ（名古屋大学病院）

私は、3年任期付きの正職員として名古屋大学医学部附属病院に就職し、今年で2年目を迎えます。私が就職した年に検査部はISO15189を取得しようと動き始めた時でした。そのため1年目にはローテーションを行う事ができず、結局2年目に行いました。約4ヶ月間のローテーションを終え、今は生理検査室に配属され3ヶ月が経ちました。技術が勝負の部署なのでまだまだ出来る事は少なく、今は心電図、肺機能を中心に行っています。最近では、FMD検査という腕の動脈の血管エコーも行っています。心電図も肺機能も奥が深く、まだまだ勉強不足、技術不足の私は、日々勉強といった感じで休日ではできるだけ勉強会や講習会に参加するようにしています。勉強会だけではなく、技師会主催の行事にも積極的に参加し他の病院の技師さんとコミュニケーションを取ったりしています。多分この病院も同じだと思いますが、ルチンが忙しく定時に仕事が終わることはほとんど無く、その後にエコーなどの練習をしている状態です。  
（次号：梅田修平さん）

**保 3回生** 泉 吉人  
（中部徳洲会病院）

私が病院に勤め始めて8ヶ月過ぎました。今では学生気分はすっかり抜けて、1人で当直に入れる様にまでなりました。しかし、私が勤める病院は救急病院でそこには色々な患者が来ます。正直1人ではまだ怖いと感じるのが本音です。それを克服するために日々の努力が大切だと最近特に感じています。  
（次号：大塚仁美さん）

ほとんどの皆さんが1000字以上の内容で、省略するに忍びない状況でした。100字程度でまとめて下さった皆さんには大変申し訳ありませんでした。この場にてお詫び申し上げます。



# 素敵な「新外来棟」がオープン



広報誌 「信大病院21C ハミングNo.52」より抜粋

平成21年5月7日から移動♪

## 【外来移転の裏話】

附属病院外来棟の引越は、想像以上に大変な事でした。使えるものを持っていくだけではなく、40年の歴史を感じる入院台帳や検査台帳、使わなくなった医療器具の整理などと、簡単には進まない現実がありました。移動するのは、あつという間でしたが、収めるのがまたひと苦労でした。更に、各科外来で使用していた紙のカルテは廃止し、電子カルテのシステムに移行しています。沢山のカルテやレントゲン写真はすべて外来棟の地下に移りました。今まで紙のカルテ上で行っていたことを、全て電子カルテ上で行うため、医師を始めスタッフは大変でした。今から思い出せば「本当に良くやった」と自分達をほめたいといったところでしょうか。裏話はこんな所に抑えておきます。その苦労と引き換えに、素晴らしい外来棟に入れたのですから...



## 患者さんのための図書室ができました！

新外来棟開設と同時に「こまくさ図書室」がオープンしました。患者さんが今まで以上に快適な診療を受けられることを願い、患者さんの癒やし、安らぎの場所として、また病



気や治療についての情報を得られる場所として設けられました。

司書が常駐し、病院所蔵の医療関係書約1,000冊と、松本市図書館から貸し出される一般の図書3,000冊、計4,000冊が閲覧できます。また、松本市図書館利用者カードの発行を受けて本を借りたり、インターネット席（4席）の利用、AV資料（医療関係のDVD、VHS）の視聴もできます。

入院患者さんは病室でゆっくりと、通院患者さんは診察や会計の待ち時間に、また付き添い、お見舞いに来院された方もどうぞご利用ください。お子様のための児童書や絵本もあります。

## 「病院再開発」最終段階に

平成21年度から平成22年度にかけて実施される外来棟取り壊し・外構整備により、病棟の改築からスタートした再開発も、最後の事業になります。

平成21年度には管理棟の改修も実施されます。1階は内視鏡センター拡充のため検査室・X線透視室等を整備し、2階は先端医療の推進を更に図るため先端医療プロジェクトスペース、先端医療外来診察室をメインとした整備を行い、3階は職員の福利厚生用として職員の皆さまに広く意見を募集し、整備を行います。平成22年2月には竣工の予定で現在環境施設部が設計に当たっています。

外来棟取り壊し・外構整備（駐車場整備）事業は、平成23年2月までに全て完成予定です。完成後は、新しく生まれ変わった信州大学医学部附属病院の全貌が姿を現し、これにより周辺道路の慢性的渋滞の解消が図れると共に、患者サービスの向上が期待されています。



## 新外来棟にオープンしたカフェをご紹介します！

日々緊張感のある医療現場に院内カフェとして癒やしの空間を提供しています。

病院内店舗ならではの取り組みとして、レジカウンターには点字メニューを用意、座りやすいように肘掛付の椅子や、患者さんの安全面に配慮してカウンターには手すりを設置するとともに角を丸くするといった配慮がなされています。

メニューはコーヒー飲料だけではなく、ちょっとした軽食やデザートも取り扱っており、朝はモーニングセットなどの取り扱いがあります。



一息つきたいときなどに立ち寄る医師も多く見られ、患者さんだけではなく多くの職員が利用しています。

座席は24席、もちろん全て禁煙席。ここはカフェとしての機能だけではなく、地元の障害者就労支援ネットワークと連携し、障害者が働く障害者雇用のモデル店舗としても高い期待を寄せられています。

新外来棟1階、こまくさ図書室の向かいに、長野県で初めて病院内に設置されたコーヒーチェーン店「タリーズコーヒー」がオープンしました。

タリーズコーヒーは、全国に約365店舗を展開しているコーヒーショップで、病院内店舗は信大病院で23店舗目（2009年7月8日現在）。

検査技術科学専攻の先生たちの最近のしごと風景を紹介します。

### 新任の先生

藤本 圭作 先生



- 1：主な担当教科  
生理学、医用工学、呼吸器内科学
- 2：在任期間  
平成20年10月～現在
- 3：近況

27年間信州大学医学部内科学第一講座で呼吸器内科学の研鑽を積んできましたが、一昨年の10月より保健学科で教鞭をとる事となりました。私の講義担当は、生理学、呼吸機能検査、医用工学、呼吸器内科学です。大学病院での外来診療、学生および修士の講義・実習、診療録管理室副室長などの雑務、卒論の指導など忙しい日々を送っています。

- 4：学校で印象深いこと

大学時代にバドミントン部に所属していましたが、保健学科にたくさんの後輩部員が居ることに驚きました。

- 5：今後

私の研究は呼吸器内科学に関する臨床研究ですが、特に気管支喘息、COPD、睡眠呼吸障害に関する臨床研究です。今後は教室の先生方に指導いただき研究の枠を上げたいと考えています。

### 退任の先生

アルプスの見えるキャンパスから  
海のそばのキャンパスへ

千葉科学大学 危機管理学部  
医療危機管理学科 藤田 清貴

“患者の痛みがわかり、病態解析ができる臨床検査技師を一人でも多く育ててみたい”...そんな思いから、信州大学でお世話になりましたが、4月から千葉県銚子市にある千葉科学大学へ転任いたしました。

信州で過ごした10年間は、私にとって忘れることのできない充実した日々であり、お世話になった多くの先生方、そして素晴らしい学生達との出会いに心から感謝しています。

こちらの大学は、まだ6年目と新しいのですが、岡山理科大学や倉敷芸術科学大学などと同じグループ校であり交流も盛んです。現在、薬学部と危機管理学部の2学部で約1,800人の学生が在籍しています。私が所属する危機管理学部の「医療危機管理学科」は、本年度から新設された学科です。専任教員は13名で、初代の学科長に選任され、四苦八苦の毎日です。学科には3コースがあり、定員80名ですが、今年は83名の学生が入学しました。単なる医療技術者を養成するのではなく、危機管理の素養を持つ臨床検査技師、臨床工学技士、および救急救命士の育成を教育目標としていますので、そのカリキュラムも特徴がありなかなか面白いのです。しかも、コースの中で「臨床検査学コース」を希望する学生が40名と最も多く、大変嬉しく思っています。

また、夏休み期間中、信州大学の教え子達が20人近く大学を訪ね遊びに来てくれたことは、私にとって大きな励みになっており、これからも夢のある教育・研究を目指して前向きに大いに頑張っていこうと思っています。

大学は関東の最東端に位置し、太平洋を一望する開放的なロケーションと、リゾートの雰囲気漂うキャンパスです。お近くにお越しの際は、ぜひご連絡いただきお立ち寄りいただけたらと願っています。



現在の私の研究室



千葉科学大学 危機管理学部棟

## 現職の先生たち



高昌星先生  
生理機能検査学,  
臨床医学総論,  
画像解析学



川上由行先生  
細菌検査学,  
病原体検査学,  
感染制御学



高宮脩先生  
血液形態検査学,  
血栓止血検査学,  
血液検査学



寺澤文子先生  
臨床化学分析学,  
生理機能検査学,  
定性検査学



日高宏哉先生  
薬理栄養検査学, 生化学,  
臨床検査管理総論, 管理  
栄養検査学, 機器分析学



相良淳二先生  
遺伝子検査学,  
生化学, R I 検査学



小穴こず枝先生  
血液検査学,  
細菌検査学,  
遺伝子検査学



奥村伸生先生  
酵素検査学,  
臨床化学分析学,  
免疫学



羽山正義先生  
病理組織検査学,  
病理細胞診検査学,  
免疫化学細胞学



亀子文子先生  
生理機能検査学,  
病理組織検査学,  
免疫検査学



## 保健学科中校舎に エレベーターができたよ!

2009年の夏、凄まじい音と振動とホコリの中で始まった中校舎の工事も2ヶ月後には「身障者および荷物運搬用エレベーター」として完成しました。春休みになり北校舎の工事も始まりました。利用者に聞いてみました。

「このエレベーターが完成し、自力で移動できる範囲が多くなりました。ありがとうございます!」





## カミングホームデー 衛検 3回生

衛検3回生は、学生運動まっただ中、昭和45年（1970年）卒業の卒業式が出来なかった学年ですが、気がつけば度々あっちこっち（幹事在住の地）で同級会と称して集って来ました。

昨年、臨嶺会よりカミングホーム資金をいただき、大町温泉郷での同級会でと提案しましたが、「これはこれ、それはそれ。卒後40年記念はあらためて来年、松本でしましょう。」ということになりました。

2009年大部分が還暦を迎える年です。卒後40年。20人20色の年を重ねて来ています。

さて、何時やろうか？どこにしようか？ない知恵をしばり、そうだ！異色（ごめんなさい）の世界を創る、久保さんの公演に併せて市内で集まろう。仕事（検査）を離れた、別世界を体験することで次の一歩を……。なんてこじつけです。

9月19日（土）2時にまつもと芸術館集合。並柳の深志荘で一泊。翌日は変貌した松本市内をそぞろ歩き。ということ集合をかけた。幹事、松本在住の5名。折りしも5連休の初日、いろいろな予定をやりくり



はんぶんこ座公演の  
久保真智子さん

して、集まってくれた仲間は延べ13名。昨年合わせた顔、久しぶりの顔、卒業以来の顔、きっと街ですれ違ってもわからないかもと手を取り合って、再会を喜びました。

久保真智子さんのはんぶんこ座公演「ひかりとかげ」。こんな世界もあったのかと魅入ること2時間半。興奮も醒めやらぬまま深志荘へ移動。桜の名所弘法山の麓の民芸調のしっとりとした旅館。おいしいお料理とお酒に舌鼓をうちながら、近況報告。学生時代の思い出話等。あっというまにタイムスリップ、いつのまにか旧姓で呼び合っていました。こうしてみると40年は短いものです。しかし、無理の利かない歳、明日のことも考え徹夜で語り合うわけにもいかず、床につきました。

翌日はうれしいことに予報に反して晴れ、早めに出発し、松本城、大名町、伊勢町、本町、中町、縄手とパンフレット片手に観光客になりました。「ここが昔の……」「わあ一面影が残ってる……」連休で混み合う中、無事昼食を済ませ（予約してよかった）、再会を約束してお見送りしました。

これからも、ながーいお付き合い。無理せずぽつぽつと集っていきたいと思っています。

衛検3回生 天木 登代

## リアルタイムRT-PCR法

PCR（ポリメラーゼ連鎖反応）やRT-PCR（逆転写-PCR）は微量のDNAやRNAを増幅するための手法で、今日、分子遺伝学の研究のみならず、生理学・分類学の研究、また医療や犯罪捜査にも大きな役割を果たしています。

PCR、RT-PCRがDNA、RNAの定性法であるのに対し、これらを経時的（リアルタイム）に測定したものをリアルタイムPCR法、リアルタイムRT-PCR法と言い、DNA、RNAを定量する事が出来ます。

実は、2009年春より世界的大流行となっている新型インフルエンザA(H1N1)：pandemic (H1N1)2009（ブタ由来のA/H1N1型：図1）の検査として、この手法が用いられています。

### 【検査法】

臨床でのインフルエンザ検査法は、インフルエンザウイルス抗原を検出するための**イムノクロマト法を用いた迅速診断キット**を用いることが多いと思います。しかし迅速キットでは、A型インフルエンザが陽性となった場合、pandemic (H1N1) 2009なのか、季節性インフルエンザなのか判定することができません。そこで遺伝子レベルでインフルエンザウイルスを検出するために**リアルタイムRT-PCR法**が用いられます。

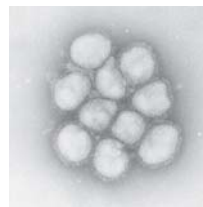


図1. 新型インフルエンザA (H1N1)：pandemic (H1N1) 2009のネガティブ染色による電子顕微鏡写真（国立感染症研究所より提供）

### 【リアルタイムRT-PCR法】

インフルエンザ感染が疑われる患者の検体（鼻腔ぬぐい液など）からRNAを抽出します。その後、A型インフルエンザウイルス、swine（ブタ）インフルエンザAおよびswine H1インフルエンザ検出のためのプライマー・プローブをそれぞれ用いて、リアルタイムRT-PCR法を行います。このとき、内因性コントロールとしてヒトRNase P遺伝子のプライマー、プローブセットも同様に反応を行います。この内因性コントロールにより、RNA抽出操作の確認と抽出されたRNAにRT反応とPCR反応を阻害する物質が含まれているかどうかわかります。

pandemic (H1N1) 2009の場合では内因性コントロールと上記のインフルエンザに対する3領域全てが反応します(図2A)。一方、季節性インフルエンザAの場合では、内因性コントロールとA型インフルエンザウイルスの2領域は反応しますが、swineの2領域は反応しません。またB型インフルエンザ陽性患者とインフルエンザ感染が疑われない患者では内因性コントロールのみが反応します(図2B)。このように迅速キットに比べ高感度にウイルスが検出可能になりますが、機器や操作時間といった問題があります。

現在、pandemic (H1N1) 2009の検出のための核酸増幅法と核酸クロマトグラフィーを組み合わせた研究用試薬が販売されており、機器があればpandemic (H1N1) 2009が検出可能です。しかし、他のA型インフルエンザおよびB型インフルエンザは検出できません。

以上のように、インフルエンザの検査でも多くの検出方法、多くの迅速キットがあります。それぞれの試薬の特性を十分に理解し、検査を進めていくことが重要ではないでしょうか。

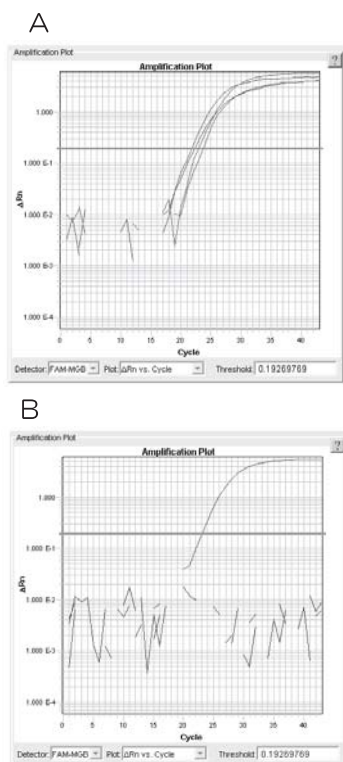


図2. リアルタイムRT-PCR法の増幅曲線

A: 4領域に増幅が認められたpandemic (H1N1) 2009症例

B: 内因性コントロールのみに増幅が認められたB型インフルエンザ症例

信州大学医学部附属病院 臨床検査部  
宇原 美帆（短25回生）

# 松本便り

## 松本山雅JFL昇格



長野県にお住まいではない方々には、あまり馴染みのない話題だと思いますが、松本では号外が出るほどのビッグニュースでした。

松本山雅フットボールクラブは、昨年行われた全国地域サッカーリーグ決勝大会で優勝し、JFLに昇格することが決まりました。JFLは、実業団チームなど18チームからなる全国リーグです。年間38試合くらい行い、上位4位に入ると他の条件（観客動員数とか）をクリアすると、次の年はJリーグのJ2で戦うことが可能になります。条件は厳しいですが、最も早く来年には、松本が本拠地のJリーグのクラブチームが誕生してしまうんです。

全国各地で試合がありますので楽しみに。

### 松本山雅フットボールクラブの概略

1965年に設立された社会人クラブチーム。「山雅」は松本駅前にあった喫茶店名に由来している。2004年からJリーグ入りを目指してさまざまな補強を行い、2009年の天皇杯2回戦では、浦和レッズに2-0でまさかの勝利をし、J1チームに勝ってしまうくらい強くなった。



## こじ記

### ～松本の魅力を求めて三千歩～

皆さん、お久しぶりです。性懲りもなく私はまた松本の旅に出てしまいました。えっ！！今回はどこに行ってきたのかって。今回は・・・『万両』に行っちゃいました。お店の名前を聞いてピンッと来る方もいれば、そうでない方もいると思います。昭和59年に追分の交差点横にオープンし、平成9年頃に現在の蟻ヶ崎（深志高校の側）に移転し、職人技によるら～めんを味わえるお店です。



牛乳ら～めん (730円)

問題です。万両といえば、何でしょう・・・？

簡単すぎでしたかね。そうです。おいしいら～めん屋さんです。ってそんなのは分かってますし、それだと問題にならないので仕切り直します。

正解は“牛乳ら～めん”です。

お店を知らなかった方でも、この奇抜な名前のら～めんのは聞いたことがあったのではないのでしょうか。味噌ら～めんをよりマイルドにというご主人の試行錯誤の積み重ねにより生み出され、娘さんたちの大絶賛によりメニューの一つとなったそうです。

いやあ～私も食べましたが、その名の通り、牛乳と生卵が加わることで絶妙な味になるんですよ。言葉ではうまく伝え切れないのが、非常に残念です (>\_<)

メニューは開店当初から変わらず、15種類のら～めんと麺と抜群にマッチした6種類の一品料理があります。昔から変わらないのは、メニューだけではありません。何よりも温かく元気いっぱいのおばちゃんからもらえる「**義理・人情・心**」といった人と人とのつながりの大切さです。取材を終えた後、私の心は元気に満ち溢れました。

お腹が満たされ体が暖くなるばかりでなく、心も温まる**万両**！！是非、皆さんも足を運んでみてはいかがでしょう・・・。

# 卒業生の進路



保健学科4期生 卒業生42名（H22年3月卒業） H22年2月15日現在（ ）内人数

就職：32名

信州大学医学部附属病院(1)、長野中央病院(1)、JA長野厚生連佐久総合病院(1)、JA長野厚生連松代総合病院(1)、JA長野厚生連安曇総合病院(1)、JA長野厚生連富士見高原病院(1)、わかばレディス&マタニティクリニック(1)、諏訪マタニティークリニック(1)、市立大町総合病院(1)、山梨県厚生連健康管理センター(1)、津田沼中央総合病院(1)、国立病院機構関東信越(2)、国立病院機構東海北陸(1)、公立陶生病院(1)、名古屋第一赤十字病院(1)、名古屋医師協同組合名古屋臨床検査センター(1)、刈谷豊田総合病院(1)、浜松医科大学医学部附属病院(3)、市立四日市病院(1)、株式会社エシック(1)、福井赤十字病院(1)、富山大学附属病院(1)、滋賀医科大学医学部附属病院(1)、いわき市職員(1)、神戸市民病院(1)、白井内科クリニック(1)、大分県職員(1)、静岡県職員(1)、福井県職員(1)

大学院進学：7名（社会人入学含む）

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（博士前期課程）(5)、信州大学大学院医学系研究科医科学専攻（修士課程）(1)、大阪大学大学院医学系研究科医科学専攻（修士課程）(1)

進学：2名

北里大学保健衛生専門学院臨床工学専攻科(1)、大阪ハイテクノロジー専門学校(1)

大学院医学系研究科修士課程保健学専攻2期生 修了生5名（H22年3月修了）

就職：5名

富山大学附属病院(1)、名古屋記念病院(1)、県西部浜松医療センター(1)、福井赤十字病院(1)、日機装株式会社(1)

## 事務局からのお知らせ

### カミングホームデー

平成22年の該当は、卒後20年が短大15回生（平成3年3月卒）、卒後40年が衛4回生（昭和46年3月卒）です。臨嶺会として補助、協力をいたしますので、今年または来年同級会を開催し旧交を温めてください。

### 臨嶺会ホームページ

臨嶺会のホームページ（PDF版）は、「信州大学医学部保健学科」ホームページの「同窓会」の中からみることができます。なお、各ホームページは下記の通りに変更されました。

保健学科ホームページ

<http://www.mhoken.jp/index.html>

保健学科同窓会ホームページ

<http://www.mhoken.jp/committee/dosokai.html>

### 求人・求職情報

事務局に求人、求職情報をお寄せください。

☆ 勤務施設で臨床検査技師を募集している

☆ 臨床検査技師として復職・転職したい

等のご希望をお持ちの方などご一報を願います。

### 会費未納の方へ

今後、会員の皆様から会費を頂くことはありませんが、平成22年2月現在で会費未納の会員には未納金額のお知らせを同封してあります。できるだけ早く納入してください。振込用紙の通信欄に衛・臨・短何回生、会員番号を必ず記載してください。

振込先 ゆうちょ銀行

口座番号「00520-0-20187」

加入者名「臨嶺会」

### 事務局への連絡方法

改姓・住所・勤務先等の変更が生じた場合は、必ず事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。方法はメール、ハガキ、封書いずれでも結構です。

### 卒業後の証明書申し込み方法

卒業証明書、成績証明書等の申込みは、郵送および窓口のみの受付となります。メール、FAX、電話では受付ません。詳細は「信州大学医学部保健学科」ホームページの「卒業生の方へ」をご覧ください。

<http://www.mhoken.jp/alumni/index.html>

【申し込み・問い合わせ先】

〒390-8621 松本市旭3-1-1

信州大学医学部学務第2係

Tel. 0263-37-2356（ダイヤルイン）

# 2009年のできごと

4月6日(月) 信州大学入学式 医学部保健学科7期生、医学系研究科保健学専攻 博士前期課程3期生・博士後期課程1期生入学

9月19日(土)・20日(日) 第60回日本電気泳動学会総会(大会長:藤田清貴先生)松本市で開催  
学会奨励賞を検査技術科学専攻2年片山史子さんが過去最年少で受賞

10月8日(木) 台風18号直撃の恐れにより信大全キャンパス休講  
でも、クリスマスイブの12月24日が補講でした。

10月12日(月) 2010準ミス松本に検査技術科学専攻SMさん(愛知県出身)  
が選ばれました。～直撃インタビュー～



準ミス松本SMさん

ミスに選ばれてから何かかわりましたか?

「町」に行くときは服装だけでなく歩き方にも気をつけています。コンビニの店員さんにも言葉使いに気をつけてきちんと挨拶をするようになりました。いつも15分前行動を心掛けています。

ミスの仕事と勉強の両立はいかがですか?

実習のレポートを書くのは大変ですが、学生ということで配慮していただいて、今のところ両立できています。

将来の夢は?

ミスになって松本のことをよく知るようになり、松本周辺で働きたいと思っています。患者さんと接するときには、患者さんの立場にたち、また、フレンドリーな感じで話しができるようになりたいです。これからいろいろなことを経験して器の大きいひとになりたいと思っています。



片山史子さん

12月9日(水) 就職・進学支援セミナー

講師:北村弘文さん(長野市民病院、短7回生)

矢吹唯さん(信州大学附属病院輸血部、保3期生)

竹浦久司さん(社会医療法人ぎつこう会多根総合病院)

パンデミックインフル  
エンザA(H1N1)が  
世界的に流行

## 編集後記

私が就職した頃の臨床検査と言えば、病院・検査センターや製薬会社の研究室などで患者さんや臨床試験におけるデータをとる・・・といったイメージでしたが、今回の特集“臨床検査の新しい方向性”を編集していて、臨床検査の技術や知識を活かし、いろいろな分野(時に他の資格も必要になりますが)で活躍する会員の方々をみると、多少なりとも臨床検査に明るい将来性が見出されたような気がしました。

ここ数回見送っておりました近況報告を復活させました。かねてより気になっていましたが、今までの近況報告は、会員が任意で寄稿して下さったものなので、投稿者が随分偏っていました。そこで今回は会員全員が参加もしくは興味を持てるように、各学年から寄稿していただき、次号へと橋渡ししていくような形式にしました。内容を読んでいると、会員一人一人の人生観や世代の移り変わりなどが実に面白いと思えました。継続できるよう、以後ご協力をお願いします。

最後に、毎度のことながら、私事を…。昨年末に開催しました、まつもと市民オペラ「椿姫」全幕(伊語)公演はお蔭様で大成功でした。ご来聴下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。

(2010.2 石川伸介)

## 臨嶺会会報 第31号

臨嶺会会長	奥村伸生
事務局	寺澤文子 小穴かず枝 亀子文子
編集委員会	石川伸介 川崎健治 久保田聖子 沖村幸枝
編集協力	赤羽昌子 小嶋俊介

印刷 株式会社プラルト

## 臨嶺会事務局

〒390-8621 松本市旭3-1-1

信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻

Tel. 0263-37-2387 (ダイヤルイン)

Fax. 0263-37-2370 (保健学科事務部)

e-mail kensa@shinshu-u.ac.jp

臨嶺会ホームページは下記保健学科同窓会より

<http://www.mhoken.jp/committee/dosokai.html>